

褥瘡ハイリスク患者ケア加算に係る報告書

褥瘡対策の実績（報告月の前月の1ヶ月間の実績・状況）	
① 入院患者数（報告月の前月の1ヶ月間の入院患者数）	名
② ①のうち、褥瘡リスクアセスメント実施人数	名
③ ②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者数	名
褥瘡ハイリスク項目	
1. ショック状態のもの	名
2. 重度の末梢循環不全のもの	名
3. 麻薬等の鎮痛・鎮静剤の持続的な使用が必要であるもの	名
4. 6時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの	名
5. 特殊体位による手術を受けたもの	名
6. 強度の下痢が続く状態であるもの	名
7. 極度の皮膚の脆弱（低出生体重児、GVHD、黄疸など）	名
8. 医療関連機器の長期かつ持続的な使用（医療用弾性ストッキング、シーネ等）	名
9. 褥瘡に関する危険因子（病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等）があって既に褥瘡を有するもの	名
④ 本加算を算定した人数	名

[記載上の注意]

- 1 褥瘡対策の実施状況については、報告月の前月の件数を記入すること。
ただし、1名の患者が複数の褥瘡を有していても、患者1名として数えることとする。
- 2 ①については、報告月の前月1ヶ月間に入院していた患者の実人数を記入する。
- 3 ②については、①のうち、褥瘡リスクアセスメントを実施した患者の実人数を記入する（1名の患者について複数回、褥瘡リスクアセスメントを実施した場合も、患者1名として数える）。
- 4 ③については、②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者の実人数を記入する（1名の患者について複数の褥瘡ハイリスク項目を有していても、患者1名として数える）。
- 5 ③のうち褥瘡ハイリスク項目の各項目については、1名の患者につき、複数の要因がある場合は、それぞれに1名として数えることとする（複数回答）。